



いちようっ子

～夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちようっ子～

<学校教育目標> 児童数401名

[強く] 自信をもち、心身ともに鍛える子

[正しく] 深く考え、進んで学ぶ子

[美しく] 明るく、思いやりのある子

2学期を振り返って

校長 藤村 郁夫

朝夕の冷え込みがしだいに厳しくなり、いちよの葉が黄色く鮮やかな時節となりました。

先日の校内持久走大会（11日）では、秋晴れの中、保護者・地域の皆様から子どもたちへの熱い声援をいただき、大きな事故なく無事に終了することができました。走り遂げた子どもたちのゴールの瞬間は、どの子も輝いて見えました。また、校内音楽会（19日）では、クレアこうのすの大舞台での緊張感漂う表情と演奏を終えた安堵と満足感に充ちた多くの笑顔が見られてうれしくなりました。大きな自信となったと思います。皆様のご協力に深く感謝しております。

さて、2学期も残り1か月となりました。以前、私は学校だよりの中で、「わくわくするような感動体験を大切に、子どもたち全員が成長する2学期にしたい。」と述べさせていただき、教職員一丸となって取り組んでまいりました。学習では、一人一台のパソコンを効果的に活用し、授業・学習活動の充実に努めたり、1クラスに複数の教職員が入って個に応じた授業を進めたりして確かな学力の定着を図ってまいりました。自主的な家庭学習の習慣づけもご家庭に協力をお願いしているところです。

また、2学期を振り返ると、運動会をはじめに修学旅行、持久走大会、音楽会などと数多くの行事がありました。新型コロナウイルス感染症対策のために多くの人たちが様々な工夫・努力をし、子どもたちの体験的な活動を保障することができました。子どもたちもその思いによく応え、達成感と満足感に充ちた数々の輝く笑顔を見ることができ、子どもたちの確かな成長を感じることができました。すぐに目に見えてきた成果と課題については指導に活かしてまいりました。しかし、目に見えない部分や長い目で見た方がいい部分が重要となりますので、今後アンケート等を通して分析し、さらに改善していきたいと思っております。ご協力お願いいたします。

人権宣言(12月4日～10日)について

世界人権宣言が国連で採択された12月10日「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、毎年、全国的に集中して人権啓発活動が行われています。しかし、今もなお、いじめや児童虐待、SNS上の人権侵害などが依然として存在しています。そうした中、子どもたちに指導する時に、会津藩の幼年教育の基本『^{じゅう}什の掟』が頭に浮かびます。全ての内容が今の社会に当てはまるわけではありませんが、いくつか目を見てみると、

- 一 虚言を言ふ事はなりませぬ。・・・うそを言ってはいけない。
- 一 卑怯な振舞をしてはなりませぬ。・・・卑怯な行動をしてはいけない。
- 一 弱いものをいぢめてはなりませぬ。・・・弱いものをいぢめてはいけない。

とあり、人としてしてはいけないことを「ならぬことはならぬものです。」と示しています。

いつの時代でも「人が人として生きていくためにはしてはいけないことがあり、それは絶対にしてはならない。」ということ、それと同時に「人としてやるべきことは、必ずやらなければならない」ということを、私たち大人は子どもたちにしっかりと教えていかなければならないと思っています。